



MEIKAI
UNIVERSITY

2010年12月20日発行
編集/会報発行担当
発行/浦安キャンパス同窓会
TEL.047-355-5112 FAX.047-355-2871
URL http://www.meikai.com/

明海大学 浦安キャンパス 同窓会報

第16号
2010.12
December

新春座談会

君の抱く夢を解き放て!!

同窓会と学生の新たなチャレンジ

「今だからこそ、やりたいことがある」
そんな夢の原石を持った学生たちを同窓会が全面的にバックアップしようとして2009年度にスタートした「夢プロジェクト」。記念すべき第1回の採用団体「Route 16」のメンバーを迎え、北原淳会長、平松健太郎副会長が、これまでの活動の成果と夢プロジェクトにかける思いを語り合う。



▶左から、北原会長、鈴木さん、斉藤さん、乾さん、足立さん、平松副会長。メンバーは全員HT学部3年。

「夢プロ」いざ発進!!

北原会長（以下、会長） 夢プロの採用決定から約1年。取材旅行、ガイドブック制作、そして韓国での旅行博出展と、めまぐるしくも密度の濃い一年でしたね。鈴木勇太さん（以下、鈴木） 大学生になつたら勉強やアルバイト以外に何かやってみよう、ずっと思っていたんです。2年生になって、何をやるのか、どんな仲間を集めようか、具体的なことを考え始めていたところに、夢プロのポスターを発見したんです。目にした瞬間、「これだ!!」って叫びそうになりました。このチャンスにやるしかない、そんなめぐり合わせみたいものを強く感じました。斉藤奏さん（以下、斉藤） 私は、鈴木君とはゼミが同じという程度の単なる顔見知りだったんですが、唐突に夢プロの話をもちかけられて、その場で一気に盛り上がり、即座に参加を決めました。

同窓会の新事業

同窓生の集まりに最大6万円の支援 「コミュニティ・サポート」

同窓会では、会員同士のコミュニティ作りのお手伝いとして、補助金をお支払いするサポートシステムをスタート。同窓生が集まるパーティー、部やサークルのOB・OG会などの際にぜひ活用してみませんか。

【サポート条件】

1. 原則として会員が10人以上で集まるコミュニティであること。
* 支援対象者は、会員のみ。
2. パーティーや活動終了後、レポートと参加者名簿を提出すること。
* レポート・名簿ともに規程フォーマットに記入。
* レポートは、HPや会報に掲載させていただく可能性があります。
* 参加者名簿は、本会のプライバシーポリシーに準じて活用いたします。

3. 宗教や政治活動を目的とするコミュニティは対象外。
4. 支援は年度内1回のみ。(同じ人が年2回受けることはできません)

【支援金】 3,000円/人 * 上限60,000円 (20人相当)

例) 参加者15人 → 45,000円支援

参加者25人 → 60,000円支援

【利用の流れ】

- ① 申込…同窓会ホームページの記載に従い、事務局へ申し込み
- ② 承認…理事会の承認を得る
- ③ 支援確定…内容に問題がない場合、「支援確定」をメールにて連絡
- ④ 実施…代表者が参加者の現住所を確認、レポート作成
- ⑤ 提出…レポートと参加者名簿を同窓会事務局へ郵送にて提出 (実施後、2週間以内)
- ⑥ 支払い…代表者へ振込



鈴木 着実に進んでいくタイプと見込んで声を掛けたのが乾さんです。TOEICの点数がずば抜けて高かったことも魅力でした。

足立太希さん(以下、足立) 僕は、メンバーの中で居場所を見つけれずに悩んだ時期もありましたが、一年間活動してみても、つくづく機能的なチームだったなと思いますね。

鈴木 友だち同士がぬるい感じで集まるという形にはしたくなかったので、人選はシビアにやりましたつもりです。

平松副会長(以下、副会長) このチームは、とにかくプレゼンがすばらしかった。日韓2カ国語のガイドブックを作り、それをもとに日本の知られざる魅力を韓国にアピールしに行くというビジョンの一つひとつが明確だったし、それをパ

ワーポイント資料にまとめ、説得する技術に秀でていました。

会長 夢プロは、支援金100万円を渡してハイ終わり、ではなく、むしろそこからがスタート。計画の立て直しや、定期的な報告など、厳しく要求しましたね。

鈴木 同窓会役員の方々に向けての報告会は、質問も厳しいし、抜けているところは容赦なく突いてくる。「学生相手にそこまでやるの?」って最初は泣きが入りましたが、おかげで鍛えられました。

乾清香さん(以下、乾) 役員の方に指摘していただいたことは一つひとつが納得できることばかりで、いろいろな視点から見つめなおすということがいかに重要か、学ばせてもらったと思っています。ありがとうございました。

メンバーを成長させた大きな縁

会長 Route 16の活動には支援金が出ましたが、それは同窓会の貴重な予算から出ています。この一年での成長を、同窓会の皆さんにアピールしていただけますか。

足立 例えば取材の申し込み一つ一つでも、初めはどこにコンタクトをとればいいのかさえわからない状態でした。そんなときでも北原会長や平松副会長からは決して正解をポンと渡されることはなかったんです。

副会長 同窓会としては、厳しく見守る、というスタンスでしたからね。

足立 あれこれ知恵を出し合って、いざ電話をかけるぞと...その最初の1本が、めっちゃめっちゃ緊張したのを覚えて

■“夢プロジェクト(夢プロ)”とは

現役学生に夢を実現するチャンスと、同窓会が2009年度に立ち上げた支援事業。優秀なプランに対し、100万円を上限に支援する。対象は学生5名以上で構成されたグループで、独自のプランであること、卒業研究を目的とした内容でないこと等の諸条件がある。活動内容は、大学内外を問わず、地域活性化や発明など、特に定められていない。詳細は同窓会HPで公開中。



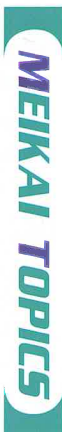
▲第2回の応募要項を記したチラシ。学内で配布した

います。でも「やるしかない」と開き直ってからは気持ちになりました。夢プロをやる前は、一つのことを責任を持ってあたるといことが不安でしょうがなかった。でも今は、「とにかくやる、そしてやればできる」という信念があります。

斉藤 ガイドブック制作のときには、北原会長やプロの方から直々に、ラフの書き方や工程の立て方など、基本的なことをひと通り教えていただきました。

会長 斉藤さんが初めてあげてきたラフの完成度には、正直驚かされましたよ。吸収力がすばらしいなど。

斉藤 ありがとうございます。「ものをつくるパワー」に突き動かされていた毎日、私の貴重な財産です。試験と重なり睡眠も満足にとれない状況でしたが、それでも楽しかった。暗中模索しながら



2010. 8/31 ~ 9/1

よりよい大学を

目指して議論

学友会サマーキャンプ

明海大学で学んでいる学生や教職員などが意見交換をし、理解と交流を深めることを目的に毎年行われる「サマーキャンプ」が、同窓会の後援のもと、8月31日(火)・9月1日(水)の2日間開催された。今回は群馬県安中市のホテル磯部ガーデンに会場を移し、日本人学生、留学生、教職員など、明海大学にかかわる210人が参加。交流を図るとともに、「明海大学の現状と今後の発展について」をメインテーマに、大学をよりよいものにするために立場を超えた意見交換を行った。



2010. 11/5 ~ 7

テーマは『輪』

明海祭



11月5日(金)から3日間、本学で明海祭を開催。恒例のステージ発表や模擬店、オリエンテーション、フリーマーケットなどが催され、学内外から集まった大勢の人で賑わった。お笑いライブには「ハイキングウォーキング」が登場。また、戦場カメラマンの渡部陽一さんの講演会や清水翔太さんのライブなど、注目度の高いイベントも目白押しだった。

■ 夢プロジェクトのあゆみ ■

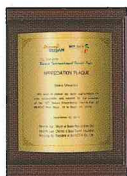
- 2009年9月 第1回プラン
募集開始
10月 応募締切
11月 書類審査を経
た4組が審査
会でプレゼン
テーション



2009年度採用結果

■採用団体 Route16
■プラン名 和香（日本のまだ知られていないながらも魅力のある観光地を海外にアピールするために、自分たちで観光地を取材してガイドブックを制作し、その成果をもって韓国で開催される旅行博に出展する）

- 2010年2月 観光地の取材を開始
6月 釜山の参考になるようにと、幕張メッセ『旅フェア』を見学
8月 ガイドブック『和香』完成
9月 第13回釜山国際観光展(韓国/3日間)に参加。出展していた世界35カ国225団体のうち、同展に貢献した6団体にのみ贈られた「APPRECIATION PLAQUE」を受賞
9月 第2回プラン募集開始
10月 応募締切
11月 第1回活動報告会および第2回審査会を実施。書類審査を経た3団体がプレゼンテーション



2010年度採用結果

■採用団体 Fire Up
■プラン名 Grow Up Shinurayasu（新浦安地域活性化を目指し、英語版のクーポン券付きフリーペーパーを作成し、外国人客を地域の飲食店に呼び込む。外国人のために寿司や焼き肉の食べ方や居酒屋の楽しみ方を掲載。軌道に乗れば学生によるビジネス展開も視野に入れる。留学生メンバーも参加）

あつという間に過ぎていった1年でしたが、活動を終えた今、将来の進路もはっきりと見据えることができました。私は、夢プロジェクトの出会いを偶然とは思っていません。「思い」があったからこそ出会えた「大きな縁」だと思っています。

乾 東北への取材旅行は、不安と寒さとの戦いでした。何か見つけられるんじゃないか、そんな思いだけで足を進めていました。知らない世界がいっぱいある、まるで日本じゃないみたい、そんな発見の毎日でした。何よりも、諦めない自分、逃げない自分が変わる瞬間を実感できたこと、そのチャンスを与えてもらったことに、ただただ感謝しています。

鈴木 旅行博（釜山国際観光展）では主催者から「APPRECIATION PLAQUE」という賞を受賞したのですが、僕にとって旅行博出展の時点で活動の集大成という位置づけだったので、受賞はプラスアルファのサプライズでした。

た。自分たちでゼロからスタートさせた活動を第三者に認めてもらったことは、非常に強い自信になっていますし、一つひとつの話し合いも含めた一年間の活動すべてが、自分を底上げさせてくれたと思っています。

副会長 僕は韓国に同行したのですが、旅行博の初日と最終日ではみんな別人のようでしたよ。それだけみんなの成長はすばらしいものだった。ほぼ1年間、活動に寄り添う形でサポートしてきたのは彼らの成長を最もリアルに見てきたのは僕じゃないかと思えます。仲間で突き進む純粋な力はとても美しいものだったし、われわれから学び、吸収しようとする姿にこちらも襟を正す思いでした。

会長 頼もしく成長したみんなを前に、大学の先輩としてだけでなく人生の先輩として、これからも学生を導いていきたいという使命感を強く感じますね。大学は「卒業したら終わり」ではなく、

立場が違うからこそ築ける関係があるというの発見でした。明海大生の元気がなくなってしまうと僕ら同窓生も悲しいので、学生全員に、誇りに思えるような大学生活を送ってほしいです。Route 16のメンバーが成長し、サポートした僕らも大学全体にどんな広げていきたいと思います！！



▲ガイドブック『和香』の日本語版と韓国語版。同窓会 HP からダウンロード可能。

2010. 11/7 地道な努力に感動！ 学園祭参加団体表彰

学園祭参加団体表彰

学園祭最終日のファイナルパーティーで、学園祭参加団体表彰の結果発表と表彰式が行われた。これは、同窓会役員がサークルや研究会などの展示・発表を審査し、優秀団体を表彰するというもの。今回は合気道部（同窓会賞）、茶道部（優秀賞）、中国語通訳研究会（優秀賞）が選ばれ、各代表に表彰状と副賞が授与された。

同窓会賞の合気道部は、日々練習してきた合気道の技を応用して、参加者に護身術を指導する講座を開催。「参加者は大人から子どもまでいたので、合気道を楽しんでもらいながら、ポイントを押さえてきちんと教えるよう工夫した。評価してもらい感激している」と主将の斉藤金道さん。

優秀賞の茶道部は不思議の国のアリスをテーマにしたセットや道具の中でのお茶会を開いた。「洋のテイストを取り入れながら和を崩さないように工夫をした。みんなががんばった成果で、とてもうれしい」と、部長の松井麻峰さん。

最優秀賞の中国語通訳研究会は、会場に中国語を流し、同時通訳の実演。3カ月前から何度も読み込みをするなど練習を重ねて、学園祭に臨んだ。「すばらしい同時通訳でした。大学生にここまでできるのかと感動した」と北原会長。「中国語はスポーツと同じで、練習を積み重ねれば誰でもできるようになります。そのことを皆さんに知ってもらえれば」と代表の赤塚大剛さんは感想を話していた。



▲最優秀賞の中国語通訳研究会

明翔会設立2年目を迎え

HT学部支部「明翔会」 山下純八

2009年春に設立して今年で2年目を迎え、さらなる飛躍を目指し活動を行っております。明翔会の初めてのイベントとして2010年2月に設立記念パーティーを開催し、大盛況のうちに終えることが出来ました。

今後の事業、展望としまして卒業生はもちろんのことHT学部在學生への支援活動を強化し、有効かつ意義ある団体として明翔会を発展させること。それらを中心に考え今後の生業としてゆきたいと思います。

まだ走り出したばかりの明翔会ではございますが、会員相互の親睦及び母校の発展に貢献し動んでまいります。そしてその念を胸に、常にベストを心掛け、翔けてゆきます。

緑風会、初の試み

不動産学部支部「緑風会」 渡辺孝之

2010年11月7日(日)の学園祭において、緑風会主催の「不動産セミナー」と「無料不動産会」を実施いたしました。今回の目的は、学園祭と併催される同窓会パーティーに来訪するOB・OG、また近隣住民向けに、業界の一線で働く不動産学部OBが、営利目的でない「不動産に関するお悩み相談」をするということでした。

「不動産セミナー」では、「住宅を買い求める時に気をつけた方がいいこと」をテーマに、97年度卒の大友哲哉さんに講演をしてもらいました。大友さんは、「住宅を購入する際には、特に本人の将来のライフスタイルを良く考えて購入する必要がある」ことを、具体的事例を織り交ぜて講演されました。

「無料不動産相談会」では、鑑定士の小畑さん、宅建業を営む阿部さんと小野さんが、不動産に悩みを持たれている来訪者に相談にあたられました。

緑風会としては初の試みでしたが、好評のうちに終わることができました。今後もこのような全OB向けのサービスの提供を模索していくことができたかと考えております。

今まで以上の就職懇談会に

中国語学科支部 川島信一

今年も試験への補助と在學生への就職懇談会を行い、2月にはパーティ開催を予定しております。

今年の就職懇談会は、昨春秋に最初の懇談をし、現在は進級した4年生を対象に6月に実施しました。2年間の学生との交流を通して、就職に対する意識の変化を感じ、履歴書のアドバイス等、今まで以上に個人と向き合った活動ができ、今後の活動に活かせる貴重な体験をすることができました。今年度も残り少なくなってきましたが、時間の調整がつけば、3年生へも同様な懇談会を開催したいと考えております。

私事ではありますが、10月に長男が誕生しました。子どもが将来、目指す大学は明海大学と胸をはって言えるような大学になるため、微力ながら協力を続けていきたいと感じています。

経済学部卒業の皆様へ

経済学科支部設立準備のお知らせ

経済学科支部設立準備委員会

2011年度の浦安キャンパス同窓会経済学科支部設立を目指して現在、その組織作りを行っています。卒業生の交流・母校のさらなる発展のため、尽力したいと考えております。

支部レポート

3年目のスタート

日本語学科支部 立花健一

私たち日本語学科同窓会は本年で設立2年目を迎えました。例えば1年目は何もかもが初めてのことで、試行錯誤を繰り返しながらも、ただガムシャラに事を進めてきた感がありましたがなんとか成功といえる結果を残せたのではとっております。

そんな1年目の活動の更なる充実化が求められる中でスタートしたのが2年目でした。本年度は、私たちの日本語学科同窓会の目玉となるイベント「同窓会パーティー」を、浦安花火大会と同日に、舞浜のシェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルで開催しました。当日は多くの同窓会会員の皆様や教職員の皆様にご出席いただき、海が見渡せる会場で旧交を温めあう光景が見られました。終了後には多くの好評の声をお寄せいただき、お蔭様で成功裏にて終了できたのでは、と自負しております。

さて、今私たちの遠くない未来にはもう3年目のスタートが近づいて来ています。来年度は、これまでのパーティーはもちろんのこと、私たちの運営方法にも変化が求められる年になろうと見込んでいます。会員の皆様が学生時代を前向きに振り返る機会を、2年という長くはなくても軽くはない経験を活かしつつ創出していけたらと、一同考えております。引き続きのご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお私たち日本語学科同窓会では、会の運営をお手伝いいただける方を引き続き募集しています。また、パーティーのイベントだけでも、ご興味があればぜひご連絡ください(nihongo@meikai.com)。

明英5周年、未来の明英会員を迎えて

英米語学科支部「明英」 志村典英

春風が心地よい、2010年5月8日(土)午後6時より浦安ブライトンホテル東京ベイにて「2010年度明英親睦パーティー」を開催しました。昨年同様、60名を上回る大勢の皆様にお集まりいただき、限られた時間ではありましたが懐かしい級友やお世話になった恩師との近況報告や情報交換など、それぞれが楽しいひと時を過ごすことができました。また嬉しいことに、今年度は数名の会員が、未来の会員候補である、お子様と共に参加してくれました。

12月11日(土)には「効果的な授業創りを目指して」というテーマで、「2010年度 明英英語教育セミナー」を開催し、渡辺雅仁先生(横浜国立大学教授)より「コミュニケーションのための文法学習とは何か」という演題で実践的なご講演をいただきました。昨年同様、大勢の参加者による活発な意見交換を行い、実りのあるセミナーを行うことができました。

またクリスマスには温かいメッセージやデザインとともに英米語学科卒業生の皆さまへ、毎年恒例のクリスマスカードをお届けしました。

今年度末には1年間の活動報告を中心としたニュースレターの配信を予定しています。多くの方々に支えられながら5年間を過ごしてきた明英ですが、より一層の発展に向け、今後も引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



東海地区連絡会

代表 岩田保宏

例年2月初旬に開催しています「東海地区連絡会」。2009年度は2010年2月6日(土)静岡駅前にある「ホテルアソシア静岡」内のイタリアンレストラン「アルポルト静岡」で行いました。

開催予定時刻の夕方6時、ホテル最上階にあるレストランの窓から見える景色を眺めながら参加者の皆さんが集まるのを待ってみるものの、1家族しか来ていない状況…。豪華なたたずまいのレストランの個室がいつそう焦燥感を高め、私も落ち着きなくテーブルの周りをぐるぐる歩きはじめました。しかし結局、仕事の都合などだったようで、約30分遅れて皆無事に集合し、連絡会をスタートできました。ワインを飲みながら皆さんの近況報告に耳を傾け、再会を喜び、親睦を深めることができました。

今回、東海地区連絡会総勢13名(同窓会役員2名)の参加がありました。毎年参加してくれる卒業生が多くを占めており、また家族で気軽に参加してくれているのも嬉しく思います。

皆さん社会人として責任のある立場の方ですが、連絡会では時間がたつにつれ、なんだか大学の頃に戻ったような雰囲気。こんな体験ができる貴重な機会を提供してくれたことに皆で感謝しつつ、来年も再会を約束し、2次会へ向かう面々に頼もしさを感じた東海地区連絡会でした。また、参加者の皆さんからは「来年もこの会場のような落ち着きのあるレストランで、ゆっくり話をしながら美味しい料理を食べたい」との要望を受けました。

当会では、初めて参加する方も来やすい連絡会の雰囲気づくりに努めています。東海地区にお住まいの卒業生の皆さん、東海地区連絡会一同、皆さんの参加をお待ちしております。

2009年度の報告

地区連絡会レポート

近畿地区連絡会

代表 小林重紀

2009年11月28日(土)に近畿地区連絡会を行いました。

大学で行われる同窓会パーティーに出席したいけれども遠方であるために出席できないという方や、当地区にいる方との交流を図るべく発足した当会も早7年が経とうとしています。年1回のこの日をどれだけ楽しみにしていたかを象徴するかのよう、早々と現地入り。今回は東京でいう銀座に値する「北新地」で行いました。肉彩料理「一步」というお店を利用しました。

こちらに在住している同窓生4名、その家族5名、同窓会理事2名、そして仕事で来ていた北原会長が合流してくれ、計12名でワイワイガヤガヤ。学生時代の話や仕事の話、最近では子どもの話が多くなった気がします。いつもながら少人数でしたが、友好的な会でした。

明海大学あつての同窓会、同窓会あつての地区連絡会、すべてが永続的に発展していくことを祈願しております。関係者の皆さま、大変お疲れ様でした。また、次回お会いしましょう。

2010年度代議員会

同窓会と大学のためになる事業を推進



2010年5月15日(土)、浦安キャンパスで、2010年度同窓会代議員会が開催され、代議員31人と安井利一学長をはじめとする教職員10人が出席した。冒頭、同窓会の北原会長と安井学長から挨拶があり、引き続き、同窓会事業報告、決算報告、新役員および代議員の選出、新年度事業計画、予算案などが審議された。2010年度会長には北原会長が再任され、主体事業として「広報」「連絡会」「支部」「企画」「財務」に加え、同窓会本部内の各事業に対し、企画立案や推進支援を目的とした「事業支援」を新設。協力・援助事業の「学生活動支援」を含めた7項目で活動することとなった。「同窓会と大学のためになる事業を推進していきたいので、皆さんのご支援をお願いしたい」と北原会長。

『会員サービス β(試行)版』について

現在、同窓会では、2016年に迎える25周年の記念事業の企画を検討しています。その中のアイデアの一つとして、会員証を発行した上での会員サービスを検討しています。

この企画の目的は、卒業生相互のサービス提供や、学生や母校へのサービス提供により、卒業生同士・学生・母校に対する関心を高め、コミュニケーションを活性化することです。

今回は、『会員サービス β(試行)版』として、QRコードを印字しました。こちらを携帯電話で読み込むと、画面上に会員証となる画像が表示されます。この画像を当該施設に提示していただくことで割引などのサービスを受けることができます(URL直接入力の場合: <http://www.meikai.com/membership>)。なお、一部機種ではご利用いた

けない場合がございますのでご了承ください。

- ★明海大学浦安キャンパス内の『ニューマリズ』にて、お食事が10%割引されます。
 - ★明海山の家『ホテルアルパイン』をご利用の際、宿泊料金が10%割引されます。
 - ★『生命の森リゾート』をご利用の際、提携法人サービスによる各種特別プランが利用できます。
- ※各施設の説明、サービスの詳細(利用上の注意)については、利用前に必ず携帯画面かホームページでご確認ください。

会員証のサービスについては、来年度以降、さらに拡大をしていきたいと思っております。卒業生の皆さまからも、ホームページや会報で、サービスのご提供を募集させていただく予定です(改めてサービス募集告知をさせていただきます)。

同窓会パーティーに 400人が参加



～ジャズの生演奏も～

2010年度浦安キャンパス同窓会パーティー

19回目となる浦安キャンパス同窓会パーティーが、11月7日（日）に本学の30周年記念館スチューデントホールで開催された。同窓生と、先生方、大学職員など約400人が参加する盛大なパーティーとなった。また、昨年同様、子どもたちに抽選会を用意したり、子ども連れの参加者のため、新規にキッズルームを設けたりと、アットホームな雰囲気いっぱいのパーティーだった。

まず、北原淳会長が「今日は短い時間ですが楽しんでいってください」と開会の言葉を述べた後、来賓を代表して小泉允圀副学長が「皆さん、お久しぶりです。皆さんの頑張る姿が、後輩たちに勇気を与えます。厳しい時代ですが、がんばっていきましょう」とスピーチ。そして、地下和弘事務局長の乾杯の発声でパーティーがスタートした。

今回はオープニングセレモニーとして、2009年に結成された本学ジャズオーケストラ部の演奏が披露された。楽器の寄贈などで同窓会が支援をしていることもあり、成果報告も兼ねて行われたもの。同部を指導する世界的ジャズピアニストの椎名豊さんらプロのプレーヤーと在校生の演奏が会場を大いに盛り上げた。

会場では、恩師や同期生、サークル、ゼミなどの仲間を見つけて楽しい歓談のひとつきを過ごすグループがたくさんできていた。

「1年に1回大学に来て、友だちに会うのを楽しみにしています。みんな変わらないですが、年々子どもの数が増えて歴史を感じますね」と参加者。北原会長は「来年は同窓会が20周年を迎えます。このパーティーは旧交を温める場として継続していくのはもちろんですが、情報を発信したり、新たなネットワークを作ったりできるような場になるといいなと考えています」と話していた。

■出席した先生方（順不同・敬称略）

- 外国語学部
鶴島俊一郎 西川寛之 原和也
- 経済学部
下田直樹 永井攻治 宮崎毅 吉田敦
- 不動産学部
小泉允圀 斎藤千尋 本間勝
- ホスピタリティ・ツーリズム学部
白野伊津夫 市川重雄

緑風会が不動産相談

今年是不動産学部同窓会・緑風会が不動産相談コーナーを開設。不動産鑑定士、宅地建物取引主任者など不動産関連の仕事をしているOBが、学生や近隣住民を対象に相談を行った。「同窓生として大学や地域に貢献できることをと、考えて実施しました」と同会。



▲受付はこちらです！



▲パーティーがスタート



▲北原会長



▲ジャズオーケストラ部



▲抽選、当たるかな？



▲お料理もいっぱい！



▲不動産学部の仲間



▲サークル仲間



▲白野先生を囲んで



▲小泉副学長



▲キッズルームもにぎやか



▲サークル仲間



▲英米語学科の同期



▲サークル仲間



▲サークル仲間



▲サークル仲間



▲サークル仲間



▲下田先生を囲んで



アンケートにご協力ください

今年の同窓会パーティーはいかがでしたでしょうか。参加された方はぜひ、アンケートにご協力ください。左のQRコードからアクセスできます。

空手道部

2010年度体育会空手道部は、体育会発足3年目で各大会において、多くの成績を残した。第53回関東学生選手権大会（団体戦）では、昨年度実績であるベスト8の壁を越え、準々決勝で古豪明治大学に勝利し、準決勝では、優勝した帝京大学に敗れたものの関東大会初のベスト4（第3位）に入賞した。また、今大会で経済学部経済学科4年生の丸山綾副主将が優秀選手として表彰を受けた。

第54回全日本学生空手道選手権大会では、男女共に出場しましたが、男子に関しては武田隼介主将を中心とし、チーム一丸となり、強豪天理大学には、代表戦の末、みごと勝利し、続く準々決勝、西の横綱と呼ばれる近畿大学と接戦の末に敗れはしたが、堂々とした戦いは見るものに感動を与え、全日本学生選手権大会で初のベスト8と次年度に繋がる内容であり、部員も『努力は裏切らない。やればできる』と実感しました。

来年度は部員も大幅に増え、東日本ベスト4、全日本ベスト4と、新たな目標を掲げ、チーム一丸となり、文武両道を志し、更なる飛躍の年にしたいと思っておりますので、諸先輩方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。（監督 上妻 優介）



ヨット部

平成22年度の明海大学体育会ヨット部は、4月に15名の新生を迎え、総勢26名、部再生以来の大所帯となった。また従来の470級に加え、スナイプ級の導入を図り、両種目で総合順位を狙える状況となった。スナイプ級の導入にあたっては、大学サイドの協力はもちろんのことであるが、同窓会長のお骨折れから新艇の寄贈があり、一挙に伝統校と戦える環境が整った。今年の春季関東大学選手権大会から、両種目出場総合7位、関東学生女子春季選手権では、初出場で総合3位に入る活躍で全日本女子インカレの出場を果たす。秋季関東学生では470級で5位入賞、16年ぶりに愛知県蒲郡で開催された全日本学生ヨット選手権に出場することができた。ご協力・ご支援いただいた大学をはじめ、同窓会・教育後援会に対し感謝申し上げます、次年度に繋げていきたいと思っております。（監督 國府田 由隆）



サッカー部

あと一步届かなかった昨年の関東大学サッカー大会昇格決定戦での雪辱を胸に、1988年の創部から23年目の今年は悲願である関東大学サッカーリーグ2部昇格を目標に、チーム一丸となって戦ってきました。その結果、千葉県大学サッカー選手権3連覇、千葉県大学サッカーリーグ1部4連覇を達成し、満を持して関東大学サッカー大会に挑みました。予選リーグ1節の横浜国立大学戦は4-2で勝利。2節の立正大学戦は1-2で敗北。予選リーグ最終戦の城西大学戦は得失点差で引き分けでも昇格決定戦に進出可能でしたが、0-4で敗北。この結果予選リーグ3位となり、悲願の関東大学サッカーリーグ2部昇格は叶いませんでした。来年こそは悲願を達成し、OB・OGの皆様と共に喜びを分かち合える年となるよう頑張りますので、ぜひグラウンドまで応援に来てください。（監督 八津川 義廣）



2010年

体育会の活躍

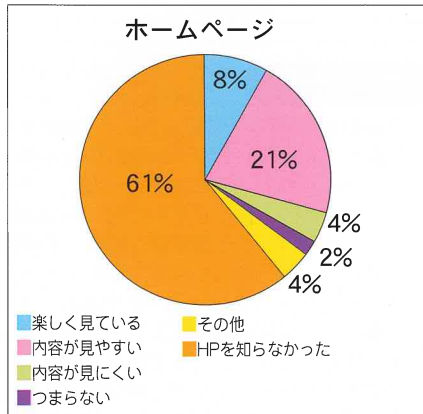
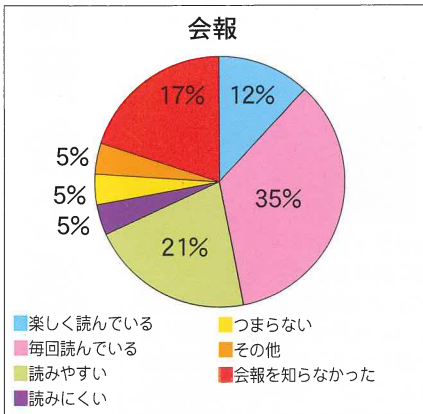
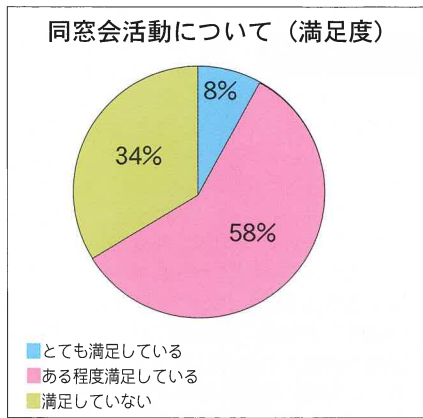
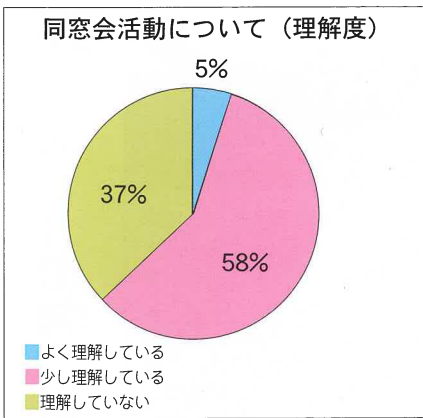
会計報告

セキュリティの関係上、ホームページには公開致しません。

アンケートの結果報告

『同窓会の活動についてのアンケート』

卒業生の皆さま、この度は『同窓会の活動についてのアンケート』へのご協力をありがとうございました。おかげさまで、たくさんの方からご意見をいただくことができました。今回のアンケートは、今後の同窓会の活動指針として大いに役立たせていただきます。会報やホームページの内容に関する質問では、やはり他の卒業生の近況を知りたいという意見が多く寄せられました。また、部やサークルを通しての学生の活躍や、お世話になった先生方の近況を求める声もありました。来期の事業計画立案に際して、集まった意見をきちんと分析し、より楽しく・より充実した同窓会活動になるよう努力いたします。また、就職支援についても、可能とお願いしたい皆さまには、ぜひ、学生への応援活動のお手伝いをお願いしたいと思いますので、よろしくお願いたします。



■アンケートの詳細について、今後、パソコン版の同窓会公式ホームページにて順次掲載していきます。(http://www.meikai.com/)

会報についてのご意見からの抜粋

- ☆同期や知り合いの状況がわかるような記事が記載されている会報だと、読みたいと思う。
- ☆母校の自慢できる情報（部活の活躍、著名人など）を掲載していただきたい。
- ☆内容は良いと思いますが、情報量が少ないと思います。ポジティブな情報、ネガティブな情報含めいろいろとバラエティに富んだ内容だと、昨今の大学全入学時代といわれるなか、母校の動向が知れて嬉しく思います。

ホームページについてのご意見からの抜粋

- ☆卒業生的な意見ですが変化する大学施設や近隣の街並や駅前の画像等の新旧があったら面白いと思います。
- ☆運営が難しいとは思いますが、卒業生同士のコミュニケーション

を図れるとうれしい。

- ☆読みやすいが、一方的・事務的な感じがするのでもう少し工夫があると、良い。あまり内容が更新されていないので、見る機会が増えるようなものがあると良い。

同窓会活動全般についてのご意見からの抜粋

- ☆同窓会役員の方々のおかげで大学を卒業してからも明海大学に近い存在に感じることができます。
- ☆とても活動的で、ほかの大学の友人などからすごいねと言われます。社会に出て落ち着いてきた今、とてもいろいろサポートがあつて助かっています。出産後も仕事復帰し、意欲的に活動したいので皆さんの頑張りが励みになります。
- ☆同窓会の皆さんの交流がもっととれるといいですね。卒業後、何をされているのでしょうか。社会でご活躍されている卒業生をいろいろな面から話題に出していけるのはいかがでしょうか。

編集後記

今年度は大々的にアンケートを実施し、率直なご意見を聞くことができ、会報担当としても改めて皆さまの関心の高さを実感できました。皆さまとつながりを持つツールとしてよりよい会報になるよう、ご意見を反映していけたらと思っております。

一方で、もともとご協力・ご参加をいただくことで、活発に同窓会活動を行っていただくことも重要だと考えています。新事業であるコミュニケーション・サポート事業を通して近況などをお伝えできれば、充実した情報発信になると思いますのでぜひ活用していただければと思います。

今年も同窓会パーティーにはたくさんの方がお越しになり、楽しいひとときとなったことは大変うれしく、また、お子様連れも増え家族愛に満ち溢れた、温かい雰囲気も感じられ、年齢を重ねることも悪くはないのだなあとこちらも心温まる想いでした。また近年、若い同窓生の参加意識が高いことが非常に嬉しく、横のつながりで参加が増えてくださるとよりよいパーティーになると思っています。同窓生の皆さまにとって、2011年が充実した年になることを微力ながら願っております。(会報担当 熊沢基之)

◆住所変更は忘れなく!

一人暮らしをしていて、お引っ越しをした際に同窓会事務局への住所変更を忘れ、「住所不明」になってしまった同窓生の方が多くいらっしゃいます。同窓会HP(携帯も可)から変更ができます。(http://www.meikai.com/)